

カタリ

学報

第28号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2012. 6. 1



聖カタリナ大学第25回

聖カタリナ大学短期大学部第47回 入学式式辞

学長 ホビノ・サンミゲル



春は一年の中で最も美しい季節であると言われて
います。大自然は美しい花で飾られ、私たちの心はあ
たたくくなり、喜びと希望で満たされます。この美し
い季節、本日、優秀な若者を本学に迎え、彼らの希望
に満ちた、人生の春を、共に祝うことができることを
喜んでおります。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

この良き日を祝うためにご列席くださったご来賓
の皆様へ、心より感謝申し上げます。また今日は、高
松教区の使徒ヨハネ諏訪榮治郎司教様にご出席下
さっております。高松教区の司教は全四国の司教で
す。ですから私たちの司教でもあります。ヨハネ諏訪
司教様は去年任命されました。本学を訪れるのは初
めてです。心より感謝したいと思います。

また、この若者を今日まで支え、導いてくださった
保護者の皆様へ、お礼とともに、心からのお慶びを申
上げます。

さて、新入生の皆さんー皆さんは今日から人生の
新しいステップを踏み出そうとしています。皆さん
は社会に出る準備として、高等教育を受けることを
決めました。この新しいステップの重要性を意識し
てください。本学は素晴らしい自然環境のもと、皆さ
んの準備期間をサポートするため、優れた教職員と
素晴らしい設備を備えています。与えられた時間を
大切に、勉学に励んでください。本学での学びは、長
い人生を歩む道になるでしょう。

さて、現代の日本人の平均寿命は80歳を超えてい

ます。皆さんの世代の平均寿命は90歳を超えるかも
しれません。本学園の初代理事長、シスター上妻は
1905年に生まれ、102歳までお元気でした。20世紀
を生き抜き、21世紀を目撃したひとりです。皆さん
の中には、22世紀の始まりを見ることが出来る人も
いるでしょう。それは未来のことですので、すべて
「可能性」としてしか考えることができませんが、皆
さんはこれから長い人生の道を歩まなければならない
ことを意識してほしいのです。

皆さんが迎える未来の社会がどういうふうに変化
していくかということも、予想できないことです。これ
もまた可能性でしか話すことはできませんが、未
来の社会には、何か本質的な変化が起こるのは間違
いないと思います。1つ目の大きな変化はテクノロジー
と自然科学の進歩に基づいて起こる変化です。2つ目
は、情報と人間の流動化文化と生活のあり方の変
化です。宇宙旅行も普通の時代になるかもしれ
ません。そして、3つ目は人間の心が求める幸福を
実現するための精神的な変化でしょう。このような、
さまざまな側面での社会変化の中で、皆さんは長い
人生を送らなければなりません。

変化の多い社会の中で、変わらないものがありま
す。それは、自分のいのちです。自分のいのちを全
うし、幸福に人生を過ごすためには、その人生の土
台をしっかりとつくらなければなりません。皆さん
の抱いている夢を実現するために、絶えず変化して
いる社会の中で堅固な土台をつくってください。そう

ことによって、変化の中でも迷わず、幸福を真っすぐに追及し、自らの人生を全うすることができます。土台を作るためには、しっかりとした準備が必要です。皆さんは、未来の社会に役に立つ人間として生きるために専門的な知識を獲得する必要があります。そして人間らしく生き、幸福に対する欲求を満たすために、倫理的、宗教的な価値観を身に付ける必要があります。

皆さんがご存知のとおり、本学はカトリック大学です。カトリック教会は約2000年の間にすばらしい価値観に基づいて、多くの人々に人格形成をほどこしてきました。そしてキリスト教のヒューマニズムに基づいて、長い年月の間に変化してきた社会の中で、多くの人々が自分の夢を実現し、喜びに満ち溢れた人生を送る手助けをしてきました。

本学もまたキリスト教のヒューマニズムに基づいて、長くなった人生と変化し続ける社会に求められる人材を育成する教育を目指しています。本学は専門教育を施すだけではなく、心の教育、宗教教育を大切にしています。

カトリックという言葉は国際化という意味を持っています。すなわちカトリック教育を通じて伝えるヒューマニズムのメッセージは、普遍的であるという特徴を持っているということです。そのメッセージは国境、言葉、人種を超えて、世界の人々が一つの家族を作るよう求めています。これからのグローバルな社会は、この普遍性の精神がなければなりません。キリスト教のヒューマニズムは国際的な精神を持つ人々を求めています。そしてその精神に基づいてつくられる新しい社会にこそ、平和と幸福が実現されるものと信じています。

本学は聖ドミニコ修道会に属しています。聖ドミニコ修道会は約800年前に設立されました。カトリック教会が掲げている価値を、説教と学問を通じて広げることを目的としています。聖ドミニコ修道会のモットーは「真理」です。この真理とは、人々を幸福にすることができる真理のことを指しています。私たちは真理を伝えます。しかし真理を伝える人は、まず自分自身がそれを獲得しなければなりません。そのために熱心な学問的研究と祈りが必要です。この精神に基づいて、各時代にドミニコ修道会では、多くの人々が活躍してきました。

その一人が聖カタリナです。彼女は14世紀にイタリアのシエナに生まれました。彼女は中世の社会において、学者、神秘主義者、平和の活動、また社会福祉のパイオニアとして活動しました。そして、女性とし

て初めて、カトリック教会から教会博士の称号を受けました。聖カタリナの原動力は真理でした。先ほど朗読された聖書の「知恵の書」の中で知恵者であったソロモン王は「全ての富、宝、健康よりも知恵を愛し、知恵を手に入れる人は神の友とされる」と述べました。まさに聖カタリナは、神のことこそ最高の真理だと悟り、知恵を愛し、知恵を手に入れようとししました。そして神の愛に包まれ、人々の幸せのために自分の生涯を捧げたのです。

愛と真理、この二つの言葉が本学の建学の精神です。皆さんも本学の保護者である聖カタリナと同じように、真理を獲得し、人々を幸せに導くために、学問を通じて知識を獲得するだけでなく、常に人々のことを考える大きな心を養ってください。よりよい社会を築くために、頭と心のバランスをとりながらしっかりと準備していただきたいのです。本学で学ぶキリスト教のヒューマニズムの価値観に基づいて、健全な人格を育ててください。その目的に達するためには、一人一人の努力が必要です。勉強は厳しい仕事です。しかし、自分の人生の夢を実現するためには、大切な手段であると意識してください。

本学は学問をする上で、自然に囲まれたすばらしい環境の中にあります。皆さんはこの瀬戸内海の静けさの中で、のびのびと自分の頭と心を養ってください。しっかりとした学問と共に、普遍的な価値を身に付けてください。私たち教職員は皆さんの希望を実現させるために力になりたいと思います。

本学はファミリア、家庭的な雰囲気を持っています。その中で共に学ぶ仲間との友情も築いてください。今年度は短期大学部が設立されてから47年、大学は25年になります。この間、皆さんの先輩たちは、すばらしい伝統をつくってきました。皆さんが今日からその伝統を受けついで、新しい時代を築いてください。

皆さんが本学に入学したことを誇りに思い、楽しい学生生活を送ることができますようお祈りいたします。



●学内合同企業説明会の開催

1月27日(金)、愛媛県内で事業を展開する企業を中心に23社の参加をいただき、平成23年度学内合同企業説明会を開催しました。

午後2時30分の開会直後から、多数の学生が学部1号館に設けられた企業ブースを訪問し、真剣な表情で説明を受けていました。企業の担当の方も熱心に説明をしてくださり、学生とのやりとりで盛り上がる場面があちこちで見られました。閉会時刻の午後5時を過ぎてからも、時間を延長して面談に応じてくださる企業が多数ありました。

ご参加いただいた企業の皆様、大変ありがとうございました。今後とも何卒よろしく願い申し上げます。



●学長と学生との懇談会(第11回)を開催

聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部では、2月9日(木)に平成23年度「学長と学生との懇談会(第11回)」を開催しました。

懇談会では、大学関係者として学長、副学長、人間健康福祉学部長、保育学科長、学生部長が出席し、学生と軽食をとりながら、リラックスした雰囲気の中で率直な意見交換を行いました。

この懇談会は、学生の声を直接聞くことによって、今後の教育改革や学生支援、さらには大学運営に役立てることを目的として毎年開催しています。

学生からは学習環境や授業内容に関する事など、学生生活の中で、学生が感じていることや要望等を、大学に直接伝えることができる有意義な機会となりました。

今後、寄せられた意見を参考にし、授業や施設・設備の改善等に反映していくことにしています。



●国際提携校：釜山カトリック大学校を表敬訪問

平成24年2月15日・16日、ホビノ・サンミゲル学長、坂原 明・人間健康福祉学部長ら学内関係者4名が、国際提携校:釜山カトリック大学校(韓国)を表敬訪問しました。

釜山カトリック大学校とは、大学間の文化的交流、学術進歩、教育の国際化を目的とし、平成23年4月1日に国際交流協定を締結し、平成24年4月には3名の留学生が人間健康福祉学部へ編入学しました。



●平成24年度後援会奨励表彰

5月16日(水)、母をたたえる日の行事に併せ、後援会長から後援会奨励金の授与が行われました。この奨励制度は、在学生の学業成績優秀者に後援会から奨励金を授与し、さらなる勉学への励みとしてもらうためのものです。今年度の表彰者は以下の皆さんです。

田中 里枝 さん(大学2年)	山本 裕之 さん(大学2年)	山内 真里奈 さん(大学3年)
毛利 華子 さん(大学2年)	青木 映憲 さん(大学3年)	中川 真菜 さん(短大2年)
矢野 誠也 さん(大学2年)	川崎 順平 さん(大学3年)	館井 恵 さん(短大2年)

◆◆平成 23 年度後期行事 (H23.10.1 ~ H24.3.31)◆◆

月	日	曜	区	行 事
10	1	土		入試・募集委員会
			大	AO入試面接、外国人留学生入試(指定校) 編入学試験(一般Ⅰ・提携Ⅰ・指定校推薦)
2	日	大	短	AO入試面接、外国人留学生入試(指定校)
			大	精神保健福祉士国試対策講座[4回生] 足から始める健康づくり
3	月			教授会
7	金			図書館委員会
		大	まつやまシニアカレッジ	
8	土	大		精神保健福祉士国試対策講座[4回生]
9	日	大		全国公開模試[4回生]
11	火	大		社会福祉学科会議
12	水			将来計画委員会
14	金			ボランティアセンター運営委員会
		大	教授会、人事委員会	
15	土	大		社会福祉士国試対策講座[4回生]
16	日	大		社会福祉士国試対策講座[4回生]
17	月			パイプオルガン演奏会実行委員会
18	火			理事長講話
19	水			FD委員会、学生生活委員会
		大	人事委員会	
20	木			教務委員会
		大	教務委員会大学部会	
21	金	大	まつやまシニアカレッジ	
		短	保育学科会議	
			人間文化研究所フォーラム	
26	水			キリスト教研究所所員会
		大	キリスト教研究所フォーラム	
27	木			ボランティアセンター運営委員会
		大	人間社会学科会議	
28	金			予算委員会
		大	大学祭(~10/30)	
		大	選考教授会、人事委員会	
29	土			人間文化研究所公開セミナー
11	2	水		人事委員会、学生生活委員会
			大	大学訪問(北条高等学校)
3	木	大		社会福祉士国試対策講座[4回生]
4	金	大		学部年間計画協議会
		短	教授会	
5	土	大		推薦入試(指定校、専願、スポーツ)
		短	推薦入試(指定校、専願、スポーツ)、社会人入試Ⅰ期	
7	月	短		保育実習[保1](~11/18)
		短	入試・募集委員会	
8	火	短		教授会
		大	教授会	
10	木			会計監査(~11/11)
11	金	大		まつやまシニアカレッジ
		大	教授会、大学評価委員会	
		短	保育学科会議	
12	土	大		保護者の方と指導教員との個別面談
		大	社会福祉士国試対策講座[4回生]	
13	日	大		社会福祉士国試対策講座[4回生]
14	月			パイプオルガン演奏会実行委員会
15	火			インターンシップ検討会議
		大	教育充実ワーキングチーム会議	
16	水			キリスト教研究所フォーラム
		大	拡大大学評価委員会	
18	金			学生生活委員会
		大	社会福祉実習委員会	
19	土	大		社会福祉士国試対策講座[4回生]

月	日	曜	区	行 事
11	20	日		元気な集落づくり事業
			月	経済支援学生選考委員会
22	火			保健講話
24	木	大		健康福祉マネジメント学科会議
25	金	大		まつやまシニアカレッジ
26	土	大		人間文化研究所フォーラム
		短	推薦入試(一般)、社会人入試	
28	月	短		推薦入試(一般)、社会人入試Ⅱ期
		大	奨学制度運営委員会	
29	火	大		入試・募集委員会、教授会
		大	FD委員会、教授会	
30	水	大		就職委員会大学部会、教務委員会大学部会
12	1	金		課長会議、ボランティアセンター運営委員会
			短	SD委員会、学生生活委員会
2	月	短		ボランティアセンター運営委員会
		短	教授会	
3	土	大		社会福祉士国試対策講座[4回生]
6	火			キリスト教研究所所員会
7	水	短		保育学科会議
8	木	大		教職課程委員会
9	金	大		大学訪問(大洲農業高等学校)
		大	まつやまシニアカレッジ	
10	土	大		教授会
			国際交流委員会	
10	土			ボランティアウイーク一般公開日
14	水			内部監査
15	木			キリスト教研究所フォーラム
		大	SD委員会	
16	金			ボランティアセンター運営委員会
		大	大学評価委員会・評価責任者会議	
17	土	大		社会福祉士国試対策講座[4回生]
18	日	大		社会福祉士国試対策講座[4回生]
20	火			学内クリスマス
		大	広報委員会、図書館委員会	
21	水	大		精神保健福祉援助実習報告会・連絡会
		短	SD委員会	
27	火			事務職員研修
1	7	土		冬季休業終了
			大	社会福祉士国試対策講座[4回生]
9	月	大		社会福祉士国試対策講座[4回生]
11	水			FD委員会
13	金	大		教授会、人事委員会
		短	教授会、保育学科会議	
16	月	短		幼稚園教育実習[保1](~1/27)
		短	SD委員会	
			ギャラリー見学(附属幼稚園)	
19	木	短		教務委員会短期大学部会
20	金			将来計画委員会
24	火			人事委員会、大学評価委員会
25	水			キリスト教研究所フォーラム
27	金			学内合同企業説明会、人間文化研究所フォーラム
28	土	大		一般入試
		短	一般入試、外国人留学生入試、社会人入試Ⅲ期	
30	月			入試・募集委員会
31	火	大		後学期授業終了
		短	教授会、選考教授会	
2	1	水	大	教授会
			大	後学期試験(~2/7)

月	日	曜	区	行 事
2	2	木		SD委員会
	3	金	大	教務委員会大学部会
			短	保育学科会議
	6	月	短	入試・募集委員会、教授会、人事教授会
	8	水	大	入試・募集委員会、教授会
			大	外国人留学生入試、編入学試験Ⅱ期
	9	木		第11回「学長と学生との懇談会」
	10	金		奨学制度運営委員会
			大	ワークショップ(大学評価委員会)
	13	月	大	人間社会学科会議
			大	介護福祉実習[介2] (~3/9)
	14	火	大	経済支援学生選考委員会
	15	水	大	精神保健福祉援助実習[社3] (~3/31)
	16	木	大	介護福祉実習[介3] (~3/14)
	17	金		FD研修会
	20	月	大	社会福祉実習委員会、教務委員会大学部会
	21	火		予算委員会
			大	教授会
			短	保育実習[保1] (~3/2)
			短	教務委員会短期大学部会
	22	水		SD委員会、キリスト教研究所フォーラム
			大	合同学科会議
	24	金		人間文化研究所フォーラム
			短	保育学科会議、教授会、人事教授会

月	日	曜	区	行 事
2	25	土	大	一般入試
	27	月	大	入試・募集委員会、教授会、人事委員会
	29	水		将来計画委員会
3	1	木		事務連絡会議
	2	金		研究紀要編集部会
			大	教授会、選考教授会
			短	教授会、人事教授会
	3	土		後援会役員会
	5	月	短	保育実習[保1] (~3/15)
	9	金		ボランティアセンター運営委員会
	14	水		将来計画委員会
	15	木		卒業式
	16	金	大	入試・募集委員会、教授会、人事委員会
	21	水		事務職員研修
				春季休業(~3/31)
	23	金		奨学制度運営委員会
	25	日		春のオープンキャンパス
				公開講座(UD研究会)
	26	月		FD委員会、入試・募集委員会
	27	火		学生生活委員会、図書館委員会
	28	水	大	教務委員会大学部会
	30	金		奨学制度運営委員会
			大	人事委員会

◆◇ 平成 23 年度卒業生就職状況 ◇◇

平成24年5月1日現在

1. 業種別状況

【聖カタリナ大学】

業 種 / 学 科	就 職 者 数				
	社会福祉	健康福祉	福祉経営	合 計	
企 業	建設/製造	2	2	0	4
	情報通信/運輸、郵便	0	2	0	2
	卸売、小売	5	6	0	11
	金融、保険	0	0	0	0
	サービス(宿泊、複合他)	2	10	0	12
	その他(電気、不動産他)	2	0	0	2
	教育、学習支援	0	2	0	2
医療、福祉	医療、保健衛生(病院他)	5	1	0	6
	児童養護施設	3	0	0	3
	老人福祉施設	29	15	0	44
	身体障害者福祉施設	3	1	0	4
	知的障害者福祉施設	9	9	0	18
	精神障害者福祉施設	4	0	0	4
	その他	1	0	0	1
公 務	国家公務員	0	0	0	0
	地方公務員	5	2	0	7

就職者数	70	50	0	120	
(県 内)	(62)	(42)	(0)	(104)	
(県 外)	(8)	(8)	(0)	(16)	
卒業生内訳	就職未定者数	3	9	1	13
	就職希望者数	73	59	1	133
	就職率	95.9%	84.7%	0.0%	90.2%
	進学決定者	1	3	0	4
	家事・その他	5	6	2	13
卒業者数	79	68	3	150	

【聖カタリナ大学短期大学部】

業 種 / 学 科	就職者数	
	保 育	
教 育 , 学 習 支 援	公立幼稚園	2
	私立幼稚園	38
	その他の教育、学習支援業	1
児 童 福 祉	公立保育所	8
	私立保育所・託児所	39
	児童福祉施設	0
	その他の児童福祉事業	4
医 療 , 福 祉	医療、保健衛生(病院他)	0
	その他の福祉、介護事業	4
企 業	卸売、小売	0
	宿泊、飲食サービス	3
	金融、保険	0
	その他	1
公 務	国家公務員	0
	地方公務員	0

就職者数	100	
(県 内)	(95)	
(県 外)	(5)	
卒業生内訳	就職未定者数	5
	就職希望者数	105
	就職率	95.2%
	進学決定者	3
	家事・その他	4
卒業者数	112	

(6Pへ続く)

2. 職種別状況

【聖カタリナ大学】

職 種 / 学 科	就 職 者 数			
	社会福祉	健康福祉	福祉経営	合 計
医療ソーシャルワーカー(MSW)	1	0	0	1
精神科ソーシャルワーカー(PSW)	0	0	0	0
相談員(社会福祉主事他)	7	1	0	8
支援相談(知的・身障・児童他)	18	8	0	26
介護福祉士・介護・支援相談(老人)他	26	13	0	39
その他の福祉専門職(保育士含)	1	0	0	1
教員(高等学校のみ)	0	1	0	1
事務	5	6	0	11
販売営業	8	6	0	14
その他(サービス,保安,生産他)	4	15	0	19
合 計	70	50	0	120

【聖カタリナ大学短期大学部】

職 種 / 学 科	就職者数
	保 育
幼稚園教諭	40
保育士	49
その他の教員	0
社会福祉専門職業/介護サービス職業	6
事務	2
販売	0
その他(サービス職業/生産工程 他)	3
合 計	100

◆◇平成23年度教授会議題(後期)◇◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

H23.10.3 第7回

1. 平成24年度AO入試合格者選考について
2. 平成24年度外国人留学生特別入試指定校推薦合格者選考について
3. 平成24年度第3年次編入学一般入試Ⅰ期合格者選考について
4. 平成24年度第3年次編入学国際提携校推薦入試合格者選考について

H23.10.14 第8回

1. 健康スポーツマネジメント専攻の新資格の設置について

H23.11.8 第9回

1. 平成24年度指定校推薦入試合格者選考について
2. 平成24年度専願推薦入試合格者選考について
3. 平成24年度スポーツ特別推薦入試合格者選考について

H23.11.11 第10回

1. 平成24年度学年暦について
2. 学則の一部改正について
3. 休学について
4. 退学について
5. 復籍について
6. 履修科目の登録の特別許可について
7. 韓国国際提携校からの編入学志願者にかかる入学試験の実施について

H23.11.29 第11回

1. 平成24年度一般推薦入試合格者選考について
2. 平成24年度第3年次編入学国際提携校推薦入試合格者選考について
3. 学生の懲戒について

H23.12.9 第12回

1. 学長賞の選考について

H24.1.13 第13回

※報告・連絡事項のみ

H24.1.31 第14回

1. 平成24年度一般入試A日程合格者選考について

H24.2.8 第15回

1. 平成24年度大学入試センター試験利用入試前期合格者選考について
2. 平成24年度外国人留学生特別入試合格者選考について
3. 平成24年度第3年次編入学一般入試Ⅱ期合格者選考について
4. 学則別表の一部改正について
5. 退学について

H24.2.21 第16回

1. 卒業判定について

H24.2.27 第17回

1. 平成24年度一般入試B日程合格者選考について

H24.3.2 第18回

1. 卒業の認定について
2. 進級判定について
3. 退学について
4. 聖カタリナ大学人間健康福祉学部履修規程の一部改正について

H24.3.16 第19回

1. 平成24年度大学入試センター試験利用入試後期合格者選考について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

H23.10.3 第7回

1. 平成24年度AO入試合格者選考について

H23.11.4 第8回

1. 平成24年度学年暦について
2. 学則の一部改正について
3. 退学について
4. 復籍について

H23.11.7 第9回

1. 平成24年度指定校推薦入試合格者選考について
2. 平成24年度専願推薦入試合格者選考について
3. 平成24年度スポーツ特別推薦入試合格者選考について
4. 平成24年度社会人特別入試Ⅰ期合格者選考について

H23.11.28 第10回

1. 平成24年度一般推薦入試合格者選考について

H23.12.2 第11回

1. 学長賞の選考について

H24.1.13 第12回

1. 退学について
2. 聖カタリナ大学短期大学部教員選考内規の一部改正について

H24.1.31 第13回

1. 平成24年度一般入試A日程合格者選考について
2. 平成24年度社会人特別入試Ⅲ期合格者選考について

H24.2.6 第14回

1. 平成24年度大学入試センター利用入試前期合格者選考について

H24.2.24 第15回

1. 平成23年度卒業判定について

H24.3.2 第16回

1. 卒業の認定について
2. 復籍について

◆◆ 平成 23 年度学校法人聖カタリナ学園決算概要 ◆◆

■ 1. 資金収支決算

資金収支決算は、資金収入が37億98百万円(予算比△78百万円)、資金支出が39億87百万円(予算比+68百万円)となりました。結果、差額1億89百万円を前年度繰越支払資金21億25百万円から減算し、次年度繰越支払資金は19億37百万円となりました。

■資金収支計算書：当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度の支払資金（現金&いつでも引き出すことのできる預貯金）の収入及び支出の顛末を表します。

(注) 表中数字の単位は、「百万円」です。
百万円未満は四捨五入して記載しています。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	増 減 (b)-(a)
前年度繰越支払資金	2,125	2,125	—
当年度	資金収入	3,876	3,798
	資金支出	3,919	3,987
	収支過不足	△ 43	△ 189
次年度繰越支払資金	2,082	1,937	△ 146

■ 2. 消費収支決算

消費収支決算は、帰属収入が36億17百万円(予算比+23百万円)、基本金組入額が1億53百万円(予算比△25百万円)となり、その結果、消費収入は34億64百万円(予算比+49百万円)となりました。一方、消費支出は37億7百万円(予算比+10百万円)となり、当年度消費収支差額は△2億43百万円(予算比+39百万円)となりました。この結果、翌年度繰越消費支出超過額は、30億22百万円の予算に対し、決算では29億83百万円となりました。

■消費収支計算書：当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を表します。一般企業会計の「損益計算書」に当たります。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	増 減 (b)-(a)
①帰属収入	3,594	3,617	23
②基本金組入額(△)	179	153	△ 25
③消費収入①-②	3,415	3,464	49
④消費支出	3,697	3,707	10
当年度消費収支差額 ③-④	△ 282	△ 243	39
前年度繰越消費 収支差額	△ 2,740	△ 2,740	—
翌年度繰越消費 収支差額	△ 3,022	△ 2,983	39

■ 3. 貸借対照表

貸借対照表は、本年度末(平成24年3月31日)において、資産の部150億円、負債の部13億58百万円、基本金の部166億25百万円、消費収支差額の部における翌年度繰越消費支出超過額は29億83百万円となりました。なお、資産総額から負債総額を減じた「正味財産額」は、136億42百万円です。

■貸借対照表：一定時点(本学は3月末現在)の資産及び負債、基本金、消費収支差額の内容及び在り高を明示し、財産の状態を表します。

科 目	本年度末 (a)	前年度末 (b)	増 減 (a)-(b)
資産の部			
固定資産	12,738	12,896	△ 158
流動資産	2,262	2,465	△ 203
合 計	15,000	15,361	△ 361
負債の部			
固定負債	728	892	△ 164
流動負債	630	738	△ 108
基本金の部			
基本金	16,625	16,471	153
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費 収支差額	△ 2,983	△ 2,740	△ 243
合 計	15,000	15,361	△ 361

* 参 考 * * * * *

学校法人は、一般事業法人と異なり、利益の稼得を目的にした組織ではありません。学生生徒や社会に対して、教育研究活動を通じた人材育成という崇高な使命を負った社会性、公共性の高い存在です。しかしながら、経営という視点を欠き、過分な設備投資や場当たり的な運営を続けていると、収入と支出のバランスを失い、経営基盤の不健全化を招いてしまいます。こういった事態を防ぐために、経営の実態を会計面から適時、的確に把握できるよう、一定の会計処理ルールが定められています。それが、昭和46年に文部省令第18号として制定された「学校法人会計基準」です。学校法人は、この「学校法人会計基準」に従って計算書類を作成することが義務づけられています。* * * * *

◆◆ 人 事 ◆◆

【平成24年2月4日付け】

【退職】
保育学科
准教授 田中 修志

計報 田中 修志
2月4日逝去(60歳)
謹んでご冥福をお祈り申
上げます。

【平成24年3月31日付け】

【退職】
人間健康福祉学部
教授 平野 信喜

会計課
技術職員(非) 中川 威
技術職員(非) 杉本 睦男
用務員(非) 梶原 栄二
学生支援課
事務職員(非) 重松 斐美
教務課
事務職員(非) 田原 美貴

【平成24年4月1日付け】

【新規採用】
人間健康福祉学部
教授 横山 知玄
講師 森平 准次

講師 高杉 公人
会計課
技術職員(非) 森田 一
技術職員(非) 後藤 安正
用務員(非) 山根 憲治
教務課
事務職員(非) 野本 沙弥花
【昇任】
保育学科
教授 藤井 澄子
教授 日野 幸子
【配置換】
保育学科

助教 竹田 信恵
入試課
主任 松田 文子
学生支援課
事務職員 大西 章公
【平成24年4月23日付け】
【新規採用】
就職課
事務職員(非) 宮土 忍
【平成24年5月1日付け】
【昇任】
人間健康福祉学部
教授 中川 洋子

◆◆ 新任教員紹介 ◆◆

①最終学歴 ②現職 ③主要担当科目 ④就任年月日



よこやま ちげん
横山 知玄

- ①駒澤大学大学院人文科学研究科修士課程社会学専攻修了
- ②聖カタリナ大学人間健康福祉学部 教授
- ③社会学、社会学原論、宗教社会学、産業社会学、社会学史、人間社会学概論
- ④平成24年4月1日



もりだいら じゅんじ
森平 准次

- ①立教大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程前期課程修了
- ②聖カタリナ大学人間健康福祉学部 講師
- ③心理療法、心理学、障害者の心理、人間社会学概論、カウンセリング、臨床心理学、教育相談の研究
- ④平成24年4月1日



たかすぎ きみひと
高杉 公人

- ①カルガリー大学ソーシャルワーク学部修士課程修了 (Masters of Social Work)
- ②聖カタリナ大学人間健康福祉学部 講師
- ③社会福祉原論、地域福祉論、社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅲ、社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ-a・b、Ⅱ
- ④平成24年4月1日



たけだ のぶえ
竹田 信恵

- ①香川大学大学院教育学研究科修士課程学校教育専攻修了
- ②聖カタリナ大学短期大学部保育学科 助教
- ③教育原理、キリスト教倫理学Ⅰ、保育実習Ⅰ・Ⅲ、保育実習指導Ⅰ・Ⅲ
- ④平成24年4月1日

◆◆ 研究室探訪 ◆◆

聖カタリナ大学短期大学部
保育学科 准教授 大上 紋子



私の研究室には、大小のペットボトルやそのフタ、古新聞やそれを丸めて作った新聞ボールの数々、子どもたちが大好きな『ガチャガチャ』から出てくる球状のケース、今はカメラもデジタル化したため、目にしなくなった大量のフィルムケース。カレンダーに付いているかわいいイラストなどなど…。普通では捨ててしまう物がたくさんあります。もしかしてごみ屋敷？いえいえ、そうではありません。レクリエーションで使う材料なのです。ペットボトルは、色水を入れたりかわいいイラストを書いたりして立てればボーリングのように遊べたり、上部をカットしてひもと新聞紙の玉をくっつけばけん玉ができあがり。明日になれば古紙として回収される新聞紙は、いろいろな遊びに活用できる『勝れ物』です。広げたり丸めたり破ったり、ちぎって穴を開けたり、へびさんニョロニョロと長く破った新聞紙でおにごっこをしたり…。小さくちぎって雨を降らせたなら子どもたちは大喜び。ピョンピョン飛び跳ねていつの間にかカエルさんに変身しています。フィルムケースでは何個積み重ねられるか競争したり、2人で交互に積み重ねていき倒した方が負けになる大人も真剣になってしまう遊びができたり、ブロックのように使ってお家を作ったりする子もいます。

私は生活のなかで、「ん？、レクに使えるかも？」と閃いたら捨てずに置いておくようになりました。だから研究室に溜まっていくのですが…。たとえば、遊びの中でグループ分けをする時でも、小道具をちょっと使えば楽しくグルー

プが作れたり、お話したことがない子とも同じグループで遊べたり、レクの力でいつのまにか子どもたちがお友だちになれるよう手助けができるのです。お金をかけなくても身近にレクの材料はたくさんあり、使い次第、アイディア次第で楽しい遊びを作り出すことができます。

レクリエーションの授業を担当し始めて12年が過ぎ、学生たちにレクのノウハウを教えながら私自身も多くを学ばせていただいたような気がします。レクリエーションは、進める側の自己満足にならないように、参加している対象者の気持ちを推し量ることが大切だと思っています。どんな内容を用意すると対象者や目的に合っているか、対象者はどんなことを期待して参加するのか、どんな方法で進めるとみんなが楽しめるのかなど事前に考えることがたくさんあります。実施しているときも一人ひとりに目を配り、必要に応じて声をかけていくことが現場では大切になります。レクの技術も必要ですが、精神的な学びが多くあると感じています。

学生たちには、卒業後どんな職業に就いてもレクの経験を生かして、普段の生活のなかで周りに気遣いができる、相手の気持ちを推し量れる社会人になってもらいたいと思っています。



2011大学祭にて。学生が「保育学科レクリエーションコーナー」を開催。子どもたちの笑顔でいっぱいになりました。

聖カタリナ大学・短期大学部学報

〒799-2496 松山市北条660番地

T E L . 089 - 993 - 0702 (代)

<http://www.catherine.ac.jp>

編集・発行

聖カタリナ大学

聖カタリナ大学短期大学部

広報委員会